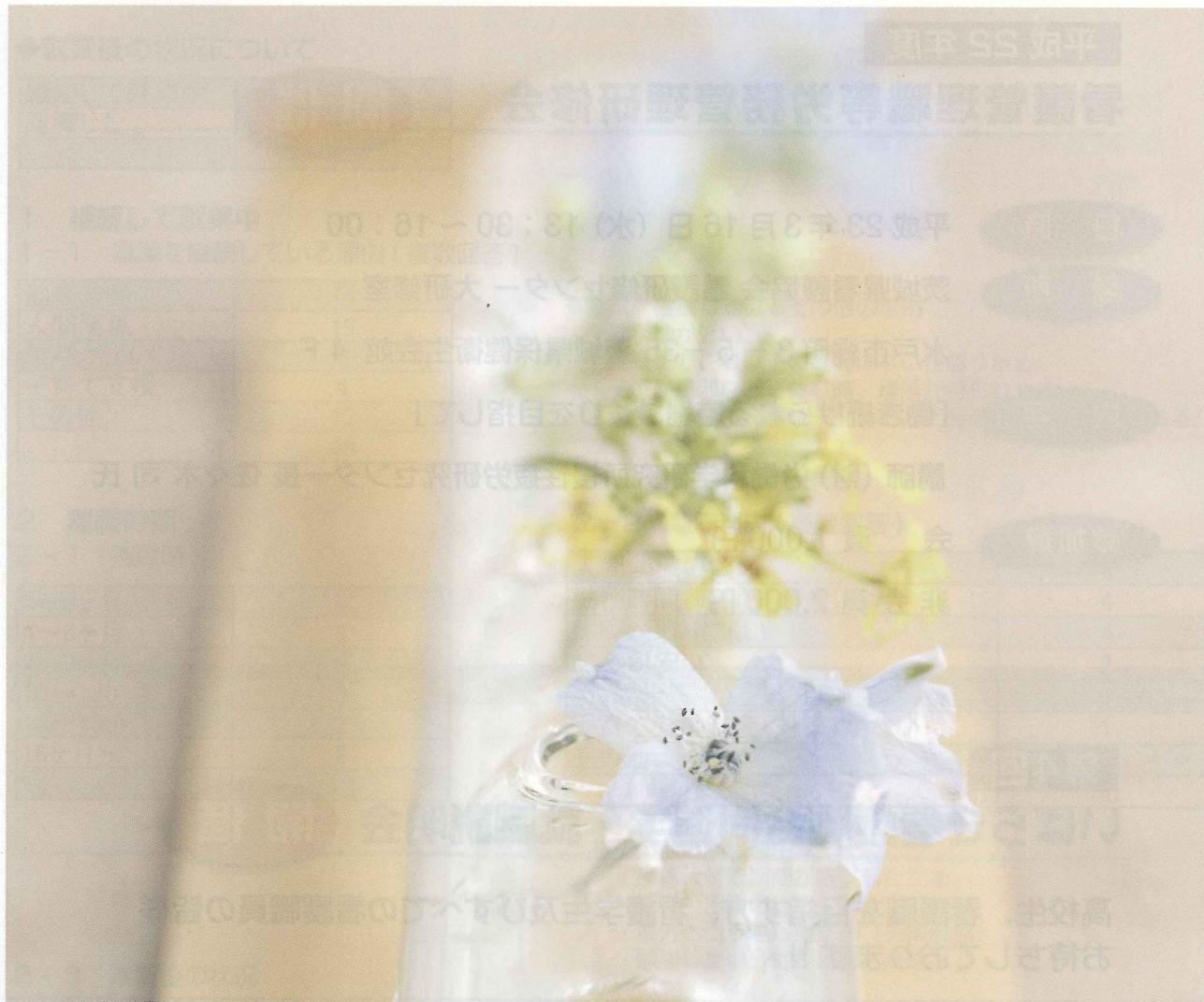


# 茨城県ナースセンターだより

vol.94

平成23年1月

〈編集・発行〉 社団法人茨城県看護協会・茨城県ナースセンター  
〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館3F  
TEL029-221-6900 FAX029-226-0493  
URL <http://www.ina.or.jp>  
e-mail [ibakango@olive.ocn.ne.jp](mailto:ibakango@olive.ocn.ne.jp)



## もくじ

● 茨城県ナースセンターからのお知らせ ······	2
→平成 22 年度 看護管理職等労務管理者研修会	
→第 4 回いばらき看護職合同進学・就職説明会	
● 魅力ある職場環境支援事業報告 ······	3
● 平成 22 年度看護職再就業支援研修 ······	4~5
● 平成 22 年度看護管理者研修 ······	6
● 平成 21 年度就業紹介者追跡調査 ······	7
● 施設の P R (みやざきホスピタル・大橋病院) ······	8



新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願い申し上げます。



## 【重要】

# 茨城県ナースセンターからのお知らせ

平成 22 年度

## 看護管理職等労務管理研修会

開催

日 時 平成 23 年 3 月 16 日 (水) 13:30 ~ 16:00

場 所 茨城県看護協会 看護研修センター 大研修室

水戸市緑町 3-5-35 茨城県保健衛生会館 4F

内 容 「働き続けられる職場づくりを目指して」

講師 (財) 労働科学研究所慢性疲労研究センター長 佐々木 司 氏

参 加 費 会 員 1,000 円

非 会 員 2,000 円

第4回

## いばらき看護職合同進学・就職説明会

開催

高校生、看護職を目指す方、看護学生及びすべての看護職員の皆様  
お待ちしております !!

参加無料 !

申し込み、予約も不要 !

入退場自由 !

日 時 平成 23 年 8 月 27 日 (土) 12:00 ~ 16:00

場 所 茨城県総合福祉会館 (予定)

※都合により変更の場合あり

## 魅力ある職場環境支援事業報告

看護職員定着促進コーディネーター 佐藤 とし子

本事業は平成 21 年度より開始し、2 年目を迎えております。

昨年は、県内有床医療施設へ定着支援活動のご案内をすると同時に、相談依頼のあった施設へ訪問し、支援をさせていただきました。多くの施設で確保や定着のため苦慮し、努力されていることが把握でき、微力ではございますが支援をしてまいりました。また、人員の確保・勤務形態等々、施設単独の努力だけでは改善困難なこともあります、改善方法の一つとして、この事業をより活用していただければと考えております。

定着を促進するための一つの方法として、WLB（仕事と生活の調和）の導入が必要な社会状況になってきています。平成 22 年度は、前年度の課題を踏まえ、WLB の導入や離職防止に向けて各施設で取り組んでいく状況を把握するため、新たに同意を得られた施設の訪問調査を実施しているところです。多くの施設での工夫がみられ、これまでにご協力下さいました各施設長はじめ看護管理者、人事労務担当者の皆様に感謝申し上げ、今後の活動につなげたいと考えております。

### 1. 相談依頼施設数

年 度	相談依頼施設数	内 訳		
		継続支援中	支援終了(問題解消)	支援終了(施設による継続検討)
平成 21 年度	8	4	1	3
平成 22 年度(4月～12月)	3	3	0	0
合 計	11	7	1	3

◆前年度より継続して支援している施設が 4 施設、今年度、新たに依頼を受けた施設が 3 施設であった。

◆今年度、新たに依頼を受けた施設は、いずれも看護管理者からの相談依頼であった。

◆支援終了のうち 3 施設については、施設独自で問題解決に向けて継続検討している。

### 2. 相談依頼(平成 22 年 4 月～12 月)

#### (1) 相談内容

	人材育成	人事労務	業務	福利厚生	組織	その他	計
件 数	17	11	6	1	2	3	40

◆相談内容は人材育成に関する内容及び人事労務に関する内容が 7 割を占めている。

◆人材の確保や定着できるための対応方法の相談、助言を必要としていた。

◆多様な問題が要因となっている状況が把握できた。

- ・職員教育について
- ・職場の人間関係について
- ・基準、手順が無く、ケアが統一されていない 等

◆業務に関する相談の中には、人的パワー不足から一人当たりの業務量が多く、研修会への参加等自己研鑽できる環境を作れない状況がみられる。

#### (2) 支援・助言内容 ※複数支援・助言あり

	人材育成	人事労務	業務	福利厚生	組織	その他	計
件 数	17	11	9	1	2	8	48

◆支援助言は、相談内容の多い人材育成や人事労務に関する内容が中心であった。

◆認定看護師を派遣し、専門の知識、技術面の支援を行った。

◆業務の手順を作成するための資料提供や助言を行った。

### 3. 支援・調査対応状況(平成 22 年 4 月～12 月)

	支援訪問	調査訪問	来所	電話	メール	FAX	計
件 数	5	21	3	17	8	1	55

## 平成 22 年度看護職員再就業支援研修状況について

就業を希望している未就業の看護職、就業して 1 年未満で看護技術等に不安のある看護職を対象に看護職員再就業支援研修を行いました。

受講者数：23 名

講 義：5 日間（9/8, 9/17, 9/28, 10/13, 12/21）

実習期間：9/27～12/20 に実施（5～10 日間）

### 1. 職種・年代別（平均年齢 38.6 歳）

	20 代	30 代	40 代	50 代	計
保健師	1	1	1	1	4
助産師		1			1
看護師	(1)	8(2)	7(1)	2(1)	17(5)
准看護師		1			1
計	1(1)	11(2)	8(1)	3(1)	23(5)

※カッコ内は、複数の資格を持っている場合の 2 つ目の資格とする。

### 2. 経験年数

	3 年未満	3～5 年未満	5～10 年 未満	10～15 年 未満	15 年以上	計
保健師	1		2	1		4
助産師		1				1
看護師		4	9	2	2	17
准看護師				1		1
計	1	5	11	4	2	23

### 3. ブランク年数

	就業 1 年 未満	離職 2 年 未満	2～5 年 未満	5～10 年 未満	10 年以上	計
保健師	1		1	1	1	4
助産師				1		1
看護師	1	2	3	5	6	17
准看護師		1				1
計	2	3	4	7	7	23

### 4. 受講目的（複数回答）

座学・実務研修をとおして、自分の不安な看護技術を確認し、研修を受けて再就業に備える	9
最近の医療、看護技術を学びたい	5
不安を解消したい	4
臨床経験が少ないため、しっかり基礎から学びたい	3
再就業にあたり、病院実習をし、見学しておく	1
知識・看護技術の向上を図る	1

## 5. 研修後の受講生の変化（複数回答）

職場を具体的に決める活動を始めた	4
研修終了後、できるだけ早い時期に就職したいと強く思った	16
職場復帰できそぐだと自信がついた	21
変化はなかった	3
再就業は難しいと思った	1
再就業に不安が増加した	1

## 6. 研修後の受講生の声

- ・緊張したが、懐かしい感じがして楽しく受講できた。
- ・この研修がなければ戻る勇気が出なかつたと思う。
- ・マンツーマンで指導していただき、病院の流れが良くわかつた。
- ・次の就職先が決まっているが、とても不安で自信をつけるために受講した。不安が解消できてとても良かった。
- ・白衣を着て病棟に立っていられたのが、素直に嬉しかった。
- ・日々医療が進歩していくにつれ、看護師にかかる責任の重さを感じていて、ブランクがある自分としては不安だったが、病院でどのように対策を取られているのか良くわかつたので不安がとれた。
- ・現場の看護師さんと直接話すことができ、どのようにワークライフバランスをとっているかとても参考になった。
- ・「できるかな」から「できそう」に気持ちが変わった。
- ・介護施設に勤めていたが、病院に復帰するにあたり、最新の医療機器の扱いに不安だったため、病院実習で体験できて良かった。
- ・自分の希望に沿ったプログラムを組んでいただきとても良かった。（実習施設）
- ・ハローワーク等で就職先を探していたが、ブランクもあり、なかなか勇気が出なかつたが、看護協会のホームページで再就業支援研修というものを知り、参加できてとても良かった。
- ・子供が小さいこともあり、まだ再就職するのに心配であったが、この研修で、母親がいない時の子供の様子等、想定できてとても良かった。

## 7. 研修受け入れ病院からの意見・感想・アドバイス

- ・すぐに再就職しても大丈夫ですので、自信を持っていただきたい。
- ・ブランクがあつてもすぐ取り戻せる感覚を知っていただきたい。
- ・研修生からお礼の手紙をもらい、再就業への後押ししができたことで、スタッフ全員感激した。
- ・25年のブランクがあつても採用し、現在も働いてもらっている。やる気さえあれば再就業は可能なので頑張ってもらいたい。
- ・ブランクがあつても、こうやって「看護師に戻りたい」と頑張っている姿を見せてくれると若いスタッフにも力になる。
- ・受講生が元気に研修へ通ってくれたのが何より良かった。「自分が何をしたい」ということを全面に出してもらってとてもやりやすかった。
- ・患者さんと会話することで看護師としての感覚を取り戻せている様子が見えた。
- ・ゆっくり慌てず、一步前に進んで、仲間として戻ってきてほしい。
- ・不安を抱えている部分について、看護協会や施設の看護管理者に相談することで解決できることもあるので、気軽に相談してほしい。
- ・昼休みや休憩時間に子育てしながら働いているスタッフと話をすることが実際に働いた時のイメージが掴めて良かったと思う。

## 平成 22 年度 看護管理者等研修

看護管理者及び事務局長を対象に看護職員が働き続けられる職場づくりを推進するために看護管理者等研修を行いました。

開催日時：平成 22 年 11 月 22 日（月）10:00～15:00

開催場所：ホテル テラス ザ ガーデン

参加者：191 名（看護部門 155 名 事務部門 36 名）

テーマ：「働きやすい職場づくりと病院運営」

講師 大久保 清子 先生

社会福祉法人恩賜財団 済生会支部

福井県済生会病院 副院長・看護部長

看護職の定着推進のため「なぜ、多様な勤務体制が必要なのか」を全国で先進的な取り組みをしている大久保先生にお話しいただきました。

### 【内容】

○看護職の職場の現状と課題

○ワーク・ライフ・バランスの進め方

- ・多様な勤務体制について
- ・子育て支援について
- ・専門職としての業務整理について
- ・キャリア支援と継続について



### 「病院職員の労務管理 事例をとおして」

講師 浅見 浩 先生

浅見社会保険労務士事務所 所長



管理者自身の労務管理に関する具体的な知識を身につけることが職場における労務管理改善の足がかりになると Q & A 形式で、27 事例をとおして、浅見先生にお話しいただきました。

### 【内容】

○労働基準法について

○労働安全衛生法について

○労災保険について

○就業規則の見直しについて

○看護者の倫理について

## 平成 21 年度 就業紹介者追跡調査

平成 21 年度内に茨城県ナースセンターを通し、就職を紹介・就業（臨時雇用除く）した看護職 132 名について、その後の追跡調査を行った。

**対象者**： 平成 21 年 4 月～22 年 3 月までに就業した看護職 132 名

**調査期間**： 平成 22 年 11 月 5 日～12 月 3 日

**回答数**： 63 名

**回収率**： 47.7% (63 名 / 132 名)

### ◆就業後の状況について

継続して就業中	44
離職した	19
計	63

### 1 継続して就業中

#### 1-1 就業を継続している理由（複数回答）

勤務時間	14
人間関係	13
給与がよい	6
子育て支援	4
その他	12
計	49

#### ※就業を継続しているその他の理由

- ・勤務地が近い。
- ・就職難でこれ以上の職場はないと思うため。
- ・子供が風邪などで休む時、理解が得られやすい。
- ・師長、主任、介護リーダーの方たちのバックアップがある。

### 2 離職時期

#### 2-1 離職時

1～3ヶ月	4
4～6ヶ月	3
7～9ヶ月	5
10～12ヶ月	3
13～15ヶ月	2
16ヶ月～	2
計	19

#### 2-2 離職理由（複数回答）

人間関係の問題	6
勤務時間（時間外が多い等）	4
休暇が取りにくい	4
給与が安い	2
夜勤（当直）が多い	1
子育て支援制度（対策）がない	1
その他	12
計	30

#### ※その他の離職理由

- ・産休代替で期間が終了したため。
- ・妊娠・出産のため。
- ・県外へ引っ越ししたため（夫の転勤）。
- ・勉強したい分野が出来たため。

#### 2-3 離職後の状況

別の場所で就業				現在未就業	
茨城県NCを通して	他都道府県NCを通して	ハローワークを通して	自己就職	NC登録有り	NC登録無し
2	1	0	5	6	1

### 3 その他

- ・子育て中で就業の不安があったのですが、とても良い環境の職場を紹介していただきました。
- ・相談しやすい雰囲気でとても親身になってくれ、ありがとうございました。
- ・以前勤めていたところは、「休まれたら困る」というところでしたので、特に幼い子どもがいる家庭では、そのあたりの情報が欲しいです。
- ・労働条件や休日数、通勤時間等、細かく相談にのっていただけたら心強くなると思います。特に茨城県の事を知らない人にとっては必要ではないでしょうか。

## 施設の紹介

### 医療法人 精光会 みやざきホスピタル

当病院は、県南地域に位置した230床の精神科病院(2000年に完全リニューアル)です。看護部は、職員誰もが働きやすく質の高い職場を目指して以下のWLBを実践しています。

勤務形態に関しては夜勤免除や時間パート制を採用し、また、年次有給休暇、介護・育児休暇などもとても取得しやすくなっています。その他、リフレッシュ休暇として国内・海外旅行(補助金あり)も行っております。さらに日々の業務におきましても「定時帰宅とサービス残業なし(月3時間以内の目標)」を実現しております。

個々のスキルアップとしましては臨床実習指導者研修、SST研修など特に精神科に特化した資格の取得についての支援も行っております。このように余裕をもちライフスタイルに合わせて働ける職場ですので、是非一緒に仕事をしていた方お待ちしております。



住所:〒301-0902  
茨城県稻敷市上根本3474  
TEL:0297-87-3321  
FAX:0297-87-3323

### 医療法人 大橋会 大橋病院

当院は、ベージュの壁にグリーンの三角屋根のモダンな建物で、水戸市民球場のすぐそばにある地域の病院として愛されております。48床の外科・内科系の病院で、内視鏡・肛門の手術が積極的に行われ、来年度の眼科開設に向けて準備をしております。隣接している介護老人保健施設「みがわ」では、ユニットケアによる介護、リハビリを提供し、良い評価を得ています。

「住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らしていくために、保健・医療・福祉のサービスを通して、社会貢献します」の理念のもと、看護部は、信頼関係を大切に誠意のある温かい看護・介護で、主体的な看護を実践しています。また、個々の目標管理に基づきキャリアアップの支援を行っています。

働きやすい職場に向けて、体制を整えていますので、子育て中、中途採用者も心配なく働けます。熱い心と優しい看護の心を持って一緒に働きませんか。



住所:〒310-0913  
水戸市見川町2131-1560  
TEL:029-240-3300  
FAX:029-240-3315

「施設の紹介」に掲載希望の施設は茨城県ナースセンターまでご連絡下さい。

お問い合わせ

〒310-0034 水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館3F

社団 法人 茨城県看護協会・茨城県ナースセンター

☎ 029-225-8572 e-mail: ibaraki@nurse-center.net URL: https://www.nurse-center.net/nccs/

看護職員電話相談専用ダイヤル☎ 029-221-7021